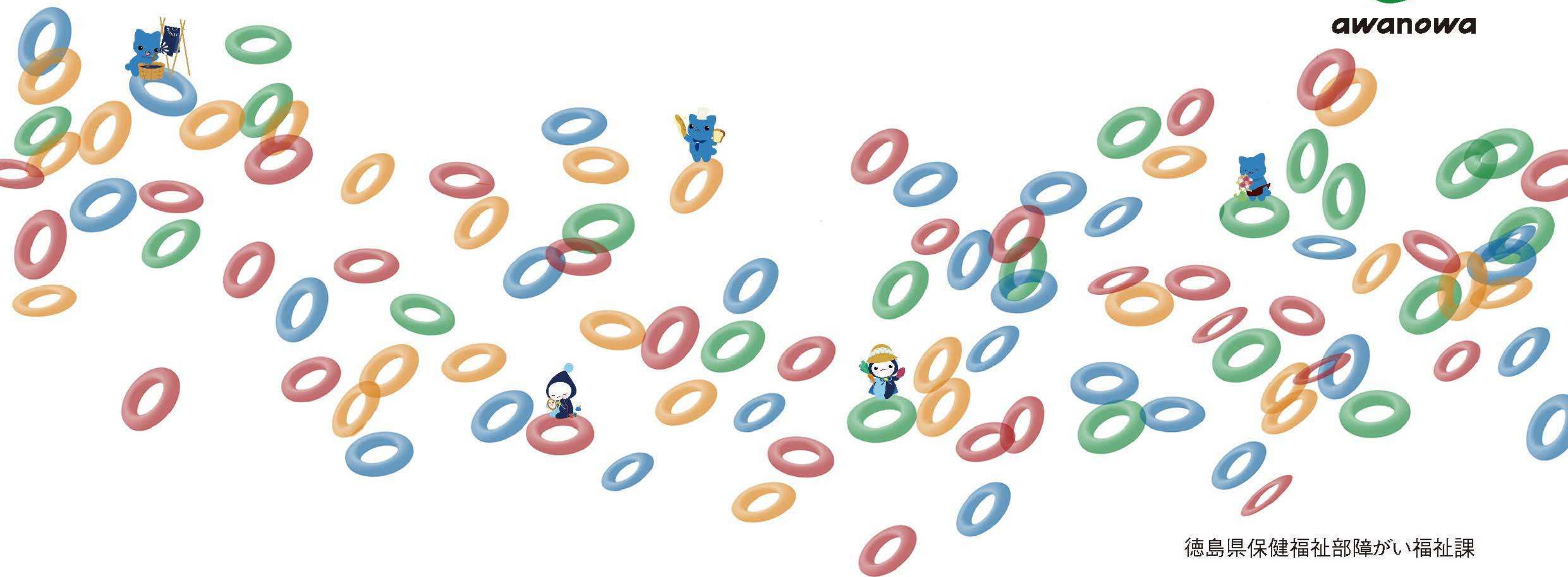


徳島県工賃向上計画(第3期)

平成30年度～平成32年度



目 次



序章 「徳島県工賃向上計画（第3期）」の策定にあたって	1
第1節 策定の趣旨	
第2節 計画の性格・策定方針・位置づけ	
第1章 「工賃向上計画（第2期）」の取組みの評価・検証 及び障がい者支援事業所等を取り巻く現状と課題	2
第1節 工賃向上計画（第2期）の取組みの実績・検証	
第2節 工賃向上計画（第3期）に向けて	
第2章 各事業所の工賃向上計画の概要	6
第3章 工賃向上計画（第3期）の取組み	9
第1節 計画の概要	
第2節 着実な工賃向上に向けた具体的方策	
第3節 その他	

徳島県工賃向上計画(第3期)

序章 「徳島県工賃向上計画(第3期)」の策定にあたって

第1節 策定の趣旨

『計画策定の趣旨』

障がい者が地域で自立した生活を送るため、平成19年度から「徳島県工賃倍増計画」、平成24年度から「徳島県工賃向上計画」、平成27年度から「徳島県工賃向上計画(第2期)」に基づき、工賃向上に取組み、一定の成果を上げることができた。

しかし、障がい者の自立や社会参加をなお一層推進するためには、計画に基づく継続的な取組みが重要である。

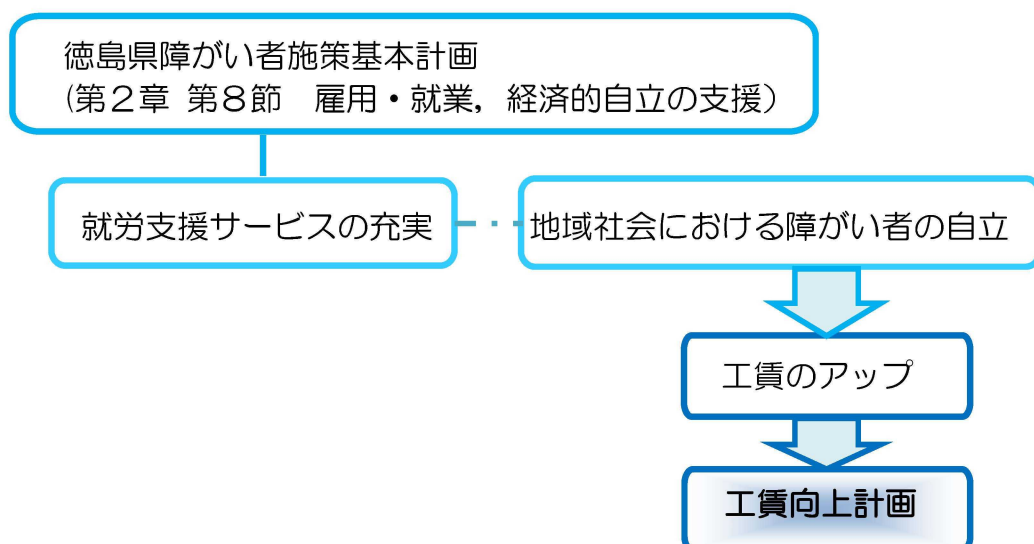
そのため、これまでの取組み結果を検証するとともに、市町村や企業、施設、関係団体との連携を強化し、さらなる工賃向上の取組みを推進する平成30年度から平成32年度の3か年計画を策定する。

第2節 計画の性格・策定方針・位置づけ

この計画は、「徳島県障がい者施策基本計画」第2章第8節「雇用・就業，経済的自立の支援」の分野に記述されている「利用者の工賃アップ」の具体的な取組みとなるものである。

策定に当たっては、国から示された『「工賃向上計画」を推進するための基本的な指針』に基づき、平成27年度から平成29年度までの3か年の「徳島県工賃向上計画(第2期)」(以下「工賃向上計画(第2期)」)を踏まえながら、必要な修正を行うことを基本とする。

また、各事業所においても「向上計画」の策定が義務づけられていることから、就労継続支援B型事業所を中心とした利用者の工賃向上を図るため、各事業所の取組みを積極的に支援できるよう、より具体的かつ効果的な行動(実施)計画と位置づける。



第1章 「工賃向上計画(第2期)」の取組みの評価・検証及び 障がい者支援事業所等を取り巻く現状と課題

第1節 工賃向上計画(第2期)の取組みの評価・検証

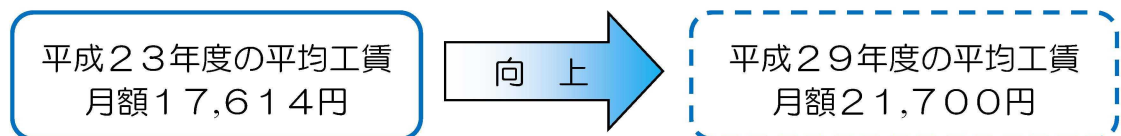
1 工賃向上計画(第2期)に基づく取組み・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 計画の概要

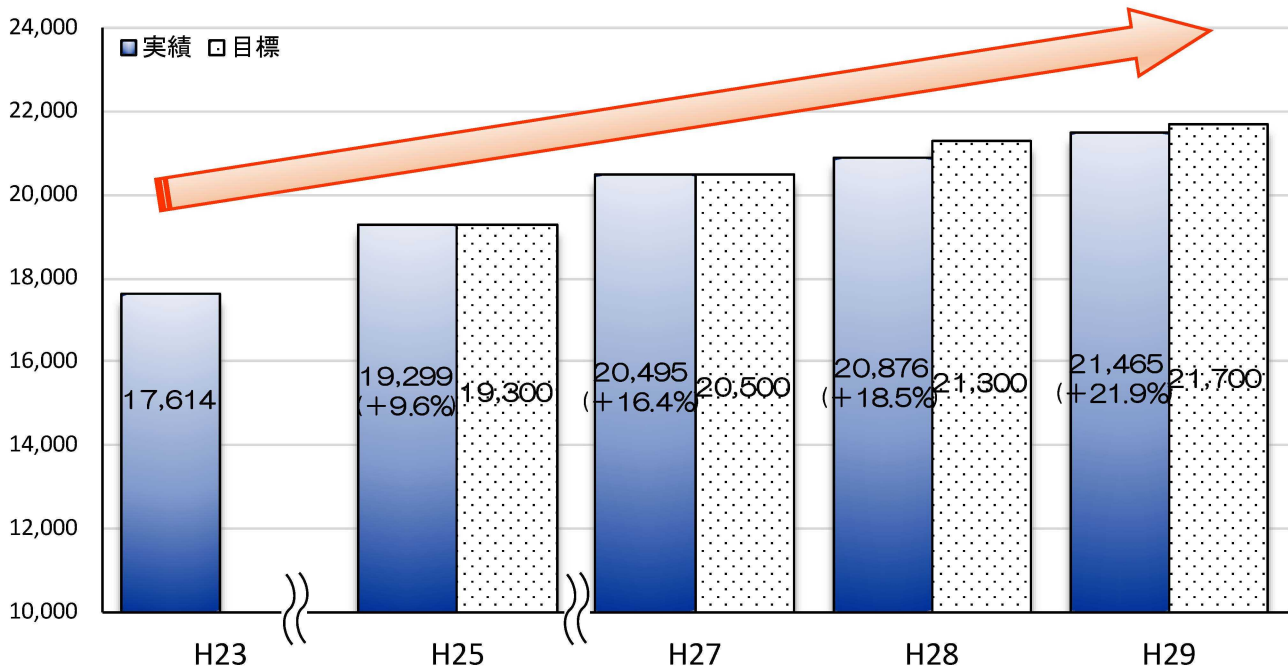
ア 目 的 各事業所が設定した目標工賃の実現のため、各事業所の工賃向上計画の策定及び着実な取組みを積極的に支援する。

イ 計画期間 平成27年度から平成29年度の3か年

ウ 目 標



(2) 実 績 平成29年度の平均工賃 月額21,465円 (+21.9%)



※単位は円、増加率はすべて対平成23年度比

(3) 評価

目標工賃の21,700円を235円下回ったものの、目標に対して98.9%と概ね計画を達成することができた。

特に、平成25年度に平成23年度比9.6%増で全国2位となって以降、実績額は順調に推移し、平成29年度には21.9%アップ（前年度比2.8%アップ）と大幅な工賃アップを達成した。

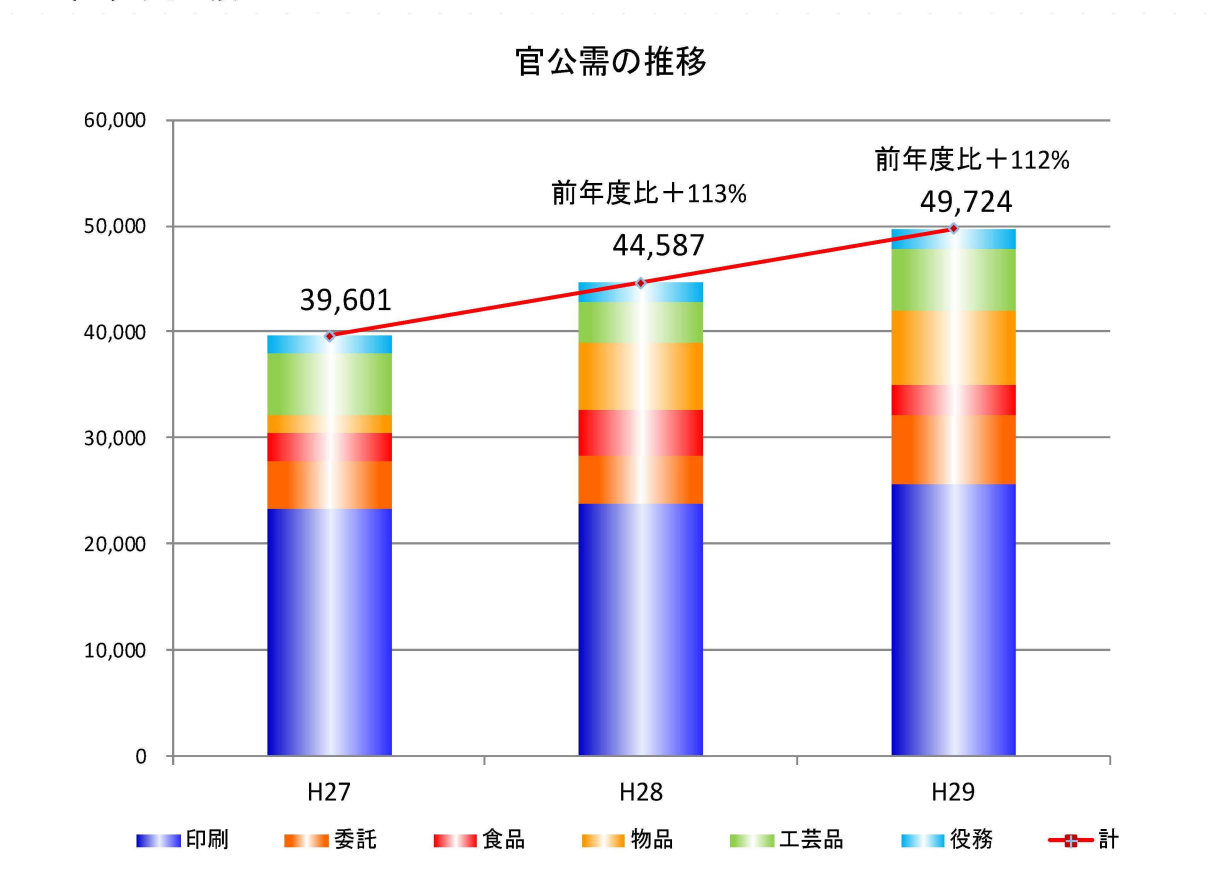
また、授産製品のブランド化(統一ブランド“awanowa”)の強化を継続的に取り組むことにより、授産製品のイメージアップを図ることができた。

(4) 課題

工賃向上計画(第2期)に基づく取り組みにより、全体的には工賃が向上したが、事業所によっては、工賃が伸び悩んだり、低下した事業所もあるため、その原因や課題を把握し、それに応じた支援策を講じる必要がある。

2 障害者優先調達の推進・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 実績



(2) 評 価

平成25年の「障害者優先調達推進法」施行後、県においては、毎年度「障害者優先調達推進方針」を作成・公表し、率先して優先調達に取り組んだところ、大幅な増加をすることができた。

(3) 課 題

県はもとより、市町村等における優先調達の配慮を要請するなど、更なる推進が必要である。

3 アンケート調査・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 概 要

工賃向上計画(第2期)の状況把握と工賃向上計画(第3期)の策定のため、対象事業所に対しアンケート調査を実施した。

(2) 検証と考察

工賃アップについての課題については、「作業能率が低く、生産能力や受託作業に限界がある」「生産コストが増加」「企業的な経営感覚に乏しい」「取引先・販売先が限られている」を課題としてあげている事業所が多い。

工賃が目標に届かない事業所では、「商品の売上げや受託作業が減少している」「売りあげにつながる商品がない」「企業的な経営感覚に乏しい」などを課題としている。

また、希望する支援としては、「仕事のあっせん」が多くみられる。次に、「共同販売会など販売機会の提供」が多い。「専門家(経営面)の派遣」や「授産製品のPR活動」も共通してみられ、求められていることが分かった。

4 NPO法人とくしま障害者授産支援協議会との取り組み・・・・・・・・

(1) 概 要

以下の事業をNPO法人とくしま障害者授産支援協議会(以下「授産支援協議会」)に委託し、実施した。

- ア 授産製品のブランド力・発信力強化
 - i 新商品開発(藍染、スイーツ等)
 - ii 既存商品見直し事業
 - iii ネット販売及び販売に関する技術指導

- iv エシカル消費に関する戦略
- v ブランド戦略に関する広報戦略

- イ 事業所の指導・フォロー強化事業
 - i 作業部会別指導

- ウ 大都市圏等での取引推進・発注機会の増大
 - i 民間事業者との協働による販路拡大
 - ii 共同販売会の実施

- エ 農福連携による就農促進
 - i 専門家による農業技術指導
 - ii 農作業と就労支援施設とのマッチング
 - iii 食品開発（6次産業化）
 - iv マルシェへの出店

（２）検証と考察

藍染やスイーツ等の新商品の開発をはじめ、エシカル消費やネット販売等の販売に関する技術指導による授産製品のブランド力・発信力の強化を行うとともに、大都市圏等での取引推進・発注機会の増大に向けた共同販売を実施した。

また、新たな活躍の場として農業分野と福祉分野との連携による農作業と施設とのマッチングや施設への農作物の栽培技術指導などの就労促進に取り組んだ。

これらの取組により、一定の成果を上げた事業所が増えてきているものの、県内事業所全体の取組みと言えるまでには至っていない。

一方、平成30年度の報酬改定により、目標工賃達成加算が廃止となったことから、事業所における技術指導経費等の削減や、工賃向上への取組み意欲の低下が懸念される。

今後は、県内全事業所へのさらなる働きかけを行い、ともに事業参加する中で、工賃向上についての事業所の意識を変えていくことが重要であり、積極的に取り組んでいく必要がある。



awanowa は、
 “NPO 法人とくしま障害者授産支援協議会 “
 の登録商標です。

第2節 工賃向上計画(第3期)に向けて

工賃向上計画(第3期)による「着実な工賃の向上」の実現には、①障がい者の生活の安定と自立の促進のため、さらなる工賃の向上が必要なこと、②工賃向上のために果たすべき事業所の役割等について理解を深め、県内事業所が一丸となって取り組みを進める必要がある。

そのためには、事業所の全職員が、自ら「工賃向上」についての意志と情熱を持ち、共有することが大切であり、施設長等の強いリーダーシップが求められる。

このように工賃向上を果たすためには、それぞれの立場で意識を変えていくことが重要であり、事業所ごとに求められる支援を実施する必要がある。

各事業所ごとの目標工賃の一覧は以下のとおり。

第2章 各事業所の工賃向上計画の概要

平成30年から平成32年までの事業所ごとの工賃向上計画を分析してみると、3 か年最終の32年度の目標工賃が平成28年度の全国平均(15,295円)の約2倍にあたる3万円以上を目標としている事業所が全体の約16%、2万円から3万円を目標としている事業所は約31%、1.5万円から2万円までの目標設定が約11%、1万円から1.5万円を目標としている事業所が約36%、5千円から1万円までの事業所が約7%となっている。

＜＜徳島県工賃向上計画(第3期)対象事業所＞＞

H29実績とH30～32の目標工賃一覧

徳島県工賃向上計画対象事業所(就労継続支援B型 平成30年4月1日現在の対象事業所)

No.	施設名	利用者数	性別	人数	平均年齢	工賃実績及び目標工賃(月額)			
						29年度	30年度	31年度	32年度
1	(特非) いのちのさと いのちのさと	20	男	17	42.0	27,055	28,916	29,169	29,224
			女	3	50.0				
2	(財) 徳島市身体障害者連合会 徳島スローワークセンター あゆみ園	34	男	15	65.0	34,367	34,434	34,501	35,086
			女	19	63.0				
3	(医) 敬愛会 地域活動支援センター オリーブの木	69	男	41	48.0	8,343	8,451	8,699	9,473
			女	28	41.0				
4	(福) 三好やまなみ会 ワークサポート やまなみ	68	男	40	53.0	16,530	14,079	14,220	14,362
			女	28	43.0				
5	(福) 小松島市手をつなぐ育成会 みやま園	9	男	8	28.0	12,970	13,000	14,000	15,000
			女	1	24.0				
6	(福) ハートランド 障害者福祉サービス事業所あづる	16	男	2	34.0	18,883	18,000	20,000	22,000
			女	14	28.0				
7	(福) 徳島県心身障害者福祉会 あおばの杜	17	男	11	40.9	14,598	14,601	14,603	14,603
			女	6	50.0				
8	(福) 凌雲福祉会 就労支援センターハーモニー	30	男	16	47.5	46,275	47,000	47,500	48,000
			女	24	35.7				
9	(特非) きのこハウス 障害者支援センターきのこハウス	29	男	21	38.8	23,145	23,245	23,355	23,455
			女	8	35.4				
10	(福) 徳島蒼生福祉会 徳島北障害者支援センター	44	男	36	42.0	25,289	33,800	34,000	34,200
			女	8	39.0				
11	(福) 柏涛会 障がい者地域生活自立支援センター (はんそうS&S) 大地阿南	28	男	19	32.7	12,076	12,094	13,438	14,781
			女	9	32.1				
12	(福) 共生会 障がい者就労支援センターかがやき	58	男	43	43.0	45,013	45,050	45,150	45,250
			女	15	42.0				
13	(福) 徳島県身体障害者連合会 社会就労センターかもな	51	男	39	47.4	55,174	55,480	55,848	56,223
			女	12	48.1				
14	(医) 養生園 障害者多機能型事業所 清風	28	男	14	46.6	10,716	11,000	11,167	11,290
			女	14	54.0				

<<徳島県工賃向上計画(第3期)対象事業所>>
H29実績とH30～32の目標工賃一覧

徳島県工賃向上計画対象事業所(就労継続支援B型 平成30年4月1日現在の対象事業所)

No.	施設名	利用 者数	性 別	人 数	平均 年齢	工賃実績及び目標工賃(月額)			
						29年度	30年度	31年度	32年度
15	(特非) アトリエひまわり 就労継続支援B型アトリエひまわり	18	男	10	45.0	22,155	23,056	23,333	23,611
			女	3	50.0				
16	(医) 清流会 障害者福祉サービス事業所クローバー	24	男	16	55.0	10,487	11,000	12,000	12,500
			女	19	63.0				
17	(福) アンドーラ グッドジョブセンター(GJC)かのん北島	13	男	9	34.8	17,385	17,949	18,590	19,231
			女	28	41.0				
18	(福) 西室苑 障害者支援施設 西室苑	10	男	6	37.4	8,241	8,333	8,461	8,617
			女	28	43.0				
19	(福) 池田博愛会 セルブ箆蔵	65	男	47	46.0	25,917	25,969	26,227	26,421
			女	1	24.0				
20	(福) 愛育会 指定障害福祉サービス事業所なごみ	30	男	20	35.7	21,955	22,200	22,429	22,659
			女	14	28.0				
21	(福) 徳島市手をつなぐ育成会 指定障害福祉サービス事業所ひまわり園	21	男	17	33.9	15,452	15,600	15,700	15,800
			女	6	50.0				
22	(特非) スマイル ワークセンタースマイル	10	男	6	31.7	10,493	11,337	12,000	12,500
			女	24	35.7				
23	(福) 悠林舎 シーズ今津	11	男	4	29.5	17,260	20,000	20,500	21,000
			女	8	35.4				
24	(福) 十字架 工房ヴィレッジ	12	男	4	38.0	17,398	18,250	19,290	20,330
			女	8	39.0				
25	(特非) 地域活動支援センターあなん 支援センターあなん	16	男	14	52.0	21,316	20,495	20,611	20,726
			女	9	32.1				
26	(福) あゆみ福祉会 障害者支援施設あゆみ園	5	男	5	36.0	9,651	11,000	11,500	12,000
			女	15	42.0				
27	(福) 徳島県心身障害者福祉会 プレジール・アオハ	16	男	11	38.5	13,102	13,913	14,130	14,348
			女	12	48.1				
28	(特非) Creer Creer	15	男	5	36.2	48,305	50,000	51,000	52,000
			女	14	54.0				
29	(一社) ひまわりの会 ひまわり作業所	23	男	20	44.0	33,704	33,813	33,918	34,019
			女	8	44.0				
30	(特非) アスカ 阿波就労支援センターアスカ	20	男	7	37.1	27,038	27,979	28,020	28,150
			女	8	51.0				
31	(福) カリヨン れもん徳島駅前	13	男	6	22.8	10,017	11,017	12,017	13,017
			女	4	25.5				
32	(特非) 巣立 就労継続支援センター巣立	18	男	11	41.0	22,423	22,500	22,600	22,700
			女	4	37.1				
33	(有) アプローチセンター 自立支援センター あぶろーち	25	男	18	30.0	34,099	35,156	36,923	37,015
			女	18	49.0				
34	(医) 青樹会 福祉サービス支援センター せせらぎ	57	男	42	47.0	13,183	13,223	13,226	13,234
			女	10	36.8				
35	(特非) ライフ・サポート徳島 ライフサポート徳島	13	男	11	55.5	27,006	27,500	27,317	27,143
			女	4	28.8				
36	(特非) 藍住町手をつなぐ育成会 指定就労継続支援B型事業所「オレンジノート」	27	男	16	41.0	22,325	22,326	22,328	22,330
			女	4	60.8				
37	(福) カリヨン れもんワークス	29	男	21	32.0	11,909	10,000	10,302	10,603
			女	7	33.4				
38	(有) アプローチセンター 自立支援センター あぶろーち板野	18	男	14	35.0	42,643	43,982	44,144	45,175
			女	8	29.0				
39	(福) 柏涛会 障害者地域生活自立支援センター (ばんそう S&S) 花畑	18	男	10	38.4	30,027	30,673	31,154	31,635
			女	2	35.0				
40	(福) 白鳳会 ヴィヴァーチェ野菊	20	男	12	32.4	21,092	21,093	21,150	21,200
			女	0	0.0				
41	(特非) いたののあせび いたの共同作業所あせび	22	男	11	50.9	9,840	10,000	10,500	11,000
			女	5	45.6				

<<徳島県工賃向上計画(第3期)対象事業所>>
H29実績とH30～32の目標工賃一覧

No.	施設名	利用者数	性別	人数	平均年齢	工賃実績及び目標工賃(月額)			
						29年度	30年度	31年度	32年度
42	(福) 健祥会 健祥苑授産センター金太郎	27	男	20	41.5	25,863	25,100	25,200	25,300
			女	10	35.3				
43	(医) 富田病院 とみた県南コミュニティセンター こうぼうとみた	13	男	13	55.8	21,070	21,200	21,300	21,400
			女	3	34.0				
44	(福) 徳島県手をつなぐ育成会 スカイピア	25	男	12	39.7	28,592	28,800	29,000	29,200
			女	13	28.8				
45	(福) 社会福祉事業団 希望の郷	20	男	12	47.0	16,052	16,292	17,267	18,305
			女	7	24.8				
46	(福) カリヨン スタジオれもん	20	男	9	31.0	10,126	10,500	11,000	11,500
			女	7	45.0				
47	(特非) 東部地域活動支援センターちゅうりっぴ 東部支援センターちゅうりっぴ	20	男	10	38.0	9,956	10,100	10,200	10,300
			女	7	43.0				
48	(医) あいざと会 地域活動支援センター ことじ	43	男	27	50.0	6,438	7,000	7,083	7,125
			女	15	43.0				
49	(福) 大麻福祉の町 ゆうあい	6	男	4	52.0	10,806	11,000	11,700	12,200
			女	2	49.0				
50	(福) アンドーラ グッドジョブセンター(GJC)かのん	31	男	18	30.1	10,884	11,143	11,429	11,857
			女	11	30.0				
51	(福) カリヨン れもん吉野	11	男	9	30.0	11,966	12,205	12,402	12,606
			女	8	31.0				
52	(株) きらり サポートきらり	14	男	10	45.2	14,905	13,440	12,603	12,628
			女	4	37.0				
53	(株) あおぎワークホーム 就労継続支援B型事業所あおぎ	21	男	14	45.9	10,304	10,417	10,796	10,985
			女	8	49.3				
54	(福) 柏涛会 障がい者地域生活自立支援センター(ばんそう S&S)がんばれる作業所	14	男	12	34.3	11,496	16,471	17,647	18,824
			女	8	34.3				
55	(福) カリヨン れもん徳島	16	男	13	28.0	14,760	15,500	16,000	16,500
			女	11	44.0				
56	(福) カリヨン ワークセンターれもん	19	男	12	38.0	4,475	6,579	—	—
			女	7	51.4				
57	(株) haru 作業所 菜の花	23	男	12	36.2	11,349	11,462	11,573	11,688
			女	0	0.0				
58	(福) みらい ワークスタイル未来B	17	男	10	28.1	14,475	15,150	16,000	17,000
			女	13	31.3				
59	(福) 柏涛会 障害者地域生活自立支援センター (ばんそう S&S) すたーと	12	男	6	40.8	5,715	8,475	9,524	10,526
			女	8	47.0				
60	(一社) こまち園	9	男	5	41.2	20,721	21,600	22,500	23,400
			女	11	37.0				
61	(株) TABIJI 就労継続支援B型 ゆいたび	19	男	10	38.3	5,848	5,556	5,790	6,000
			女	10	37.0				
62	(特非) リーフ 就労継続支援B型 リーフ	3	男	1	18.0	0	25,000	25,001	25,002
			女	16	43.4				
63	(社) 三美厚生団 多機能型事業所 阿波かしがおか	15	男	11	44.7	0	11,299	12,000	13,000
			女	2	36.0				
			平 均			21,465	21,723	22,358	22,753

第3章 工賃向上計画(第3期)の取組み

第1節 計画の概要

1 目的

計画の対象期間中においては、各事業所が設定した目標工賃の実現のため、各事業所の工賃向上計画の策定及び着実な取組みを積極的に支援する。

さらに、対象期間後においても、継続して一層の工賃向上に取り組むことができるよう、企業的経営手法の定着を図り、事業所が経済主体として自立できる基盤作りを支援する。

2 対象期間

平成30年度から平成32年度までの3か年とする。

3 対象事業所

(1) 就労継続支援B型事業所

(2) 就労継続支援A型事業所、生活介護事業所（生産活動を行っている場合。以下同じ。）、地域活動支援センターのうち「工賃向上計画」を作成し、工賃向上に意欲的に取り組む事業所

4 目標工賃

平成32年度（計画最終年度）の目標工賃を 月額 22,500円 とする。



＜参考＞目標工賃を時間額においても設定した事業所があることから、参考値として、時間額による目標工賃を示す(時間額設定31事業所の平均値)。

平成30年	264	円
平成31年	272	円
平成32年	276	円

5 取組方針

工賃向上計画(第3期)では、第2期計画の「工賃向上に向けた具体的方策」を基本としながら、工賃実績の状況別に事業所を3つのグループに分け、それぞれに求められる支援を実施する。

- (1) 【グループA】工賃が向上したまたは月額3万円以上の事業所
- (2) 【グループB】工賃が伸び悩んだまたは月額2万円以上の事業所
- (3) 【グループC】工賃が減少した事業所

全事業所を対象として「意識改革」を図り、「企業の経営手法の導入」を進めるとともに、「着実な工賃向上」のため、新たな取り組みやこれまでの支援を強化して実施する。

具体的には、工賃が減少したグループCの底上げ及び工賃が伸び悩んだグループBの立て直しを最優先課題とし、職員の職層に応じた意識改革により「工賃向上」の取組が全事業所で積極的に推進されるよう支援を行う。

また、グループAは、事業所が利用者と一体となった「意識改革」や「技術向上」の取り組みを行うことにより、各利用者をスキルアップし、「利用者が主役となった就労支援事業」の実施により工賃の向上が図れるよう支援を行う。



あいねこと藍ずきんは
NPO 法人とくしま障害者授産支援協議会の
マスコットキャラクターです。

第2節 着実な工賃向上に向けた具体的方策

1 グループ別支援の実施

(1) 意識改革支援

		平成30年度	平成31年度	平成32年度
A	県	研修会の開催 対象：施設長・管理職・職員 内容 ・対象者の職階に応じた内容で実施	対象：施設長・管理職・職員 内容 ・対象者の職階に応じた内容で実施 ・利用者の意識改革研修手法	対象：施設長・管理職・職員 内容 ・対象者の職階に応じた内容で実施 ・利用者の意識改革研修手法
	事業所	○研修への参加 ○事業所内研修の実施 施設長が、全職員対象に意識改革研修を実施 →工賃向上と事業所のミッション	○研修への参加 ○事業所内研修の実施 施設長が、全職員と利用者を対象に意識改革研修を実施 →工賃向上と事業所のミッション →利用者の意識改革	○研修への参加 ○事業所内研修の実施 施設長が、全職員と利用者を対象に意識改革研修を実施 →工賃向上と事業所のミッション →利用者の意識改革
B・C	県	研修会の開催 対象：施設長 内容 ・工賃向上の意義の認識 ・工賃向上意欲の醸成 ・リーダーシップ発揮の醸成 ・就労支援事業所の「使命」の再認識	対象：管理職・リーダー 内容 ・工賃向上意義の認識 ・工賃向上意識の共有 ・事業所の使命の再確認と共有	対象：職員 内容 ・工賃向上の意義の認識 ・工賃向上意欲の醸成と共有
	事業所	○施設長等の研修会への積極的参加 ○自己研鑽に努める	○研修への参加 ○事業所内研修の実施 ・施設長が、管理職・リーダーを対象に、意識改革研修を実施 ・工賃向上と事業所のミッション	○研修への参加 ○事業所内研修の実施 ・施設長が、全職員対象に、意識改革研修を実施 ・工賃向上と事業所のミッション

(2) 企業的経営手法の導入支援

		平成30年度	平成31年度	平成32年度
A	県	研修会の開催 ○企業の経営の重要性 就労科目毎の独立経営 ○マーケティング 新たな販路開拓 ○「弱み」を「強み」へ	○企業の経営手法 現状分析と企業的経営手法による経営改善 ○新規販路開拓支援	○企業的経営手法 現状分析と企業的経営手法による経営改善
	事業所	○省エネによるコスト削減 ○就労科目毎のコスト管理と削減 ○新たな販売ルートの開拓 ○弱みを強みへの検討	○就労科目毎の経営移行準備 ○弱みを強みの実施 ○新規販売ルートでの販売 ○コスト削減の継続	○就労科目別独立経営の実践 ○弱みの克服による新規事業展開
B	県	研修会の開催 ○施設の共通経費（光熱水費等）削減手法 ○企業的経営の重要性 マネジメント手法	○現状分析・経営改善 強みの強化による経営改善	○企業的経営の一部導入 ・弱い事業からの撤退 ・不採算事業の見直し
	事業所	○事業所全体の光熱水費の現状分析と、省エネによるコスト削減の取組 ○就労支援事業経費把握と主な経費の削減の取組	○共通経費と就労支援事業の省エネによるコスト削減効果の検証と更なる省エネの実践 ○主な就労支援事業のコスト（原価）把握	○省エネによるコスト削減の継続 ○主な就労支援事業のコスト（原価）把握 ○就労支援事業の独立採算へ
C	県	研修会の開催 ○施設の共通経費（光熱水費等）削減手法	○企業的経営の重要性 マネジメントの基礎 強みと弱み	○現状分析・経営改善 強みによる就労支援事業の経営改善
	事業所	○事業所全体の光熱水費の現状分析と、省エネによるコスト削減の取組 ○就労経費とその他の施設運営費との分離の徹底	○共通経費の省エネによるコスト削減効果の検証と更なる省エネの実践 ○就労支援事業経費把握と経費削減の取組 ○強みの把握	○省エネによるコスト削減の継続 ○主な就労支援事業のコスト（原価）把握 ○強みによる就労支援事業の強化

2 工賃向上に向けた継続的な取組みの強化

(1) 授産製品のブランド力・発信力強化

徳島県の授産製品全体のブランディング事業である「awanowa」事業を強化し継続する。

ア 「藍染め」・「県産品を使ったスイーツ」をはじめとした授産製品の新品開発と既存製品の見直しによる製品の質の向上。

イ エシカル消費を踏まえたイメージ戦略による購買層の拡大。

ウ 広報、PR活動に注力し積極的な広報戦略による周知の拡大。

(2) 就労支援施設間の連携促進

授産支援協議会と連携し、県内各就労支援施設が有する資源（人、設備、生産物等）を有機的に結合させ、互いに連携を図り、授産製品の生産コストの削減と販売の拡大を図る。（藍染関連商品や印刷技術、食品パウダー関連商品など）

(3) 事業所の指導・フォロー強化

ア 各事業所のレベルに加え、作業部会をパン製造や印刷、クリーニング、清掃作業等の作業種別に細分化し、専門家による研修会や個別指導を行うことにより、より身近な課題解決を図る。

イ 利用時間や利用日数が短い傾向にある精神障がい者対象施設への作業部会での課題検討や研修会等の実施により、課題解決を図る。

(4) 大都市圏等での取組推進・受発注機会の増大

県の東京・大阪本部、名古屋事務所等と連携し、大都市圏での出展や商談を強化し、新たな販路の拡大を目指す。

(5) 農福連携による障がい者の就農促進

障がい者の新たな就労機会として注目されている農福連携を促進する。

農業分野での障がい者の就労を支援し、障がい者の工賃水準の向上及び農業の支え手の拡大を図るとともに、就労支援施設への農業に関する専門家の派遣や農作業と施設とのマッチング、施設が生産する農作物を活用した6次産業化への取組みや、農福連携マルシェの開催等を実施する。

(6) 障がい者が繋ぐ地域の暮らし“ほっとかない”事業

平成25年度から、障がいのある方が「買い物支援」や「高齢者等の見守り」など日常生活を支える主役となる就労のかたちである本事業を開始し、「生きがいと

絆づくり」に取り組んできた。買い物に不便を感じられている方のもとへ、就労支援施設で作った食品や、地域で調達した日用品などを届けるとともに、高齢者のお宅を訪問し、お話を伺い、安否を確認する「見守り活動」を実施するもので、これまで「支援される側」であった障がいのある方が、「地域を支える主役」となる事業である。

県としては、「みんなが幸せになる」この全国初の取組みを、今後とも地域の実情に合わせて進化させ、県内にさらに広めていくとともに、積極的にPRすることにより、同じ課題を抱える全国各地にも広がるよう、しっかりと展開していく。

(7) とくしま障害者「働きたい！」応援事業

障がい者の「働きたい！」を応援するため、県が率先して就労支援施設等の生産品の販路拡大を図るとともに、障がい者の職場実習の場を提供することにより、障がい者の工賃水準の引き上げと就労支援の強化を図る本事業を着実に進める。

ア とくしま・障害者「働きたい！」発注事業

県庁各部局や各課の軽印刷や報償品等について、積極的に就労支援施設や授産製品を活用してもらうことにより、就労支援施設等の受注拡大と安定的な仕事の確保を図る。

イ とくしま・障害者「働きたい！」職場実習支援事業

県の県民局等の関係施設を障がい者の対面販売の実習場所として提供することにより、障がい者の職場実習の場所及び機会の確保と対面販売能力の向上を図るとともに、そこで授産製品等を販売することにより授産製品の販路の拡大を図る。

(8) 障害者優先調達推進法による官公需の推進及び促進

平成25年度施行の「国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律」に基づき引き続き官公需を推進する。

官公需等の増加、大口受注等に対応できるよう事業所の受け入れ体制を整備。

(9) 市町村との連携強化

市町村の官公需の推進の協力依頼。

市町村の関係施設等での授産製品の販売促進の協力依頼。



第3節 その他

1 計画の進捗管理

(1) 徳島県工賃向上計画

毎年度、工賃の実態調査等を実施し、目標工賃及び目標工賃の達成状況を把握し、徳島県ホームページにおいて公表
達成状況の検証をし、計画に所要の見直しを行う。

(2) 事業所別工賃向上計画

各事業所において、「工賃向上計画」を策定し、その取組みについて職員、利用者及び利用者の家族へ周知の上、理解・協力を得る。

随時、「工賃向上計画」の実施、検証及び分析(SWOT分析等)を行い、所要の見直しを行っていく(PDCAサイクル)。

awanowa とは？

徳島県内の就労移行支援事業所・就労継続 支援 A 型
B 型事業所・地域活動支援センターなどで作る団体、
**NPO 法人とくしま障害者授産支援協議会の
統一ブランドです。**



食品



藍染



雑貨



スイーツの共同開発のブランド。
スイーツコンテストを開催し、
毎年、新しいスイーツの開発を
行っています。



農福連携プロジェクトのブランド。
農業の拡大と 6 次産業化商品
の開発、マルシェでの販路拡大を
行っています。



AWANOWA

PLUS WOOD WORK

木製品の共同開発のブランド。
間伐材を活用した什器を中心に
商品開発を行っています。



《awanowa あいいろ》とは、
藍染めの共同開発ブランド。
天然灰汁発酵建ての伝統技法を
継承しつつ新しい沈殿藍技法にも
取り組み、商品開発を行っています。